

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス まある		
○保護者評価実施期間	令和8年1月23日	～	令和8年2月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年1月23日	～	令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	根拠に基づいた支援の実施	保護者様・利用児童との面談や客観的アセスメントツール(vineland2)を用いてアセスメントを丁寧に行い、個々のお子さまの特性やニーズを踏まえた個別支援計画を作成しています。また、職員間で計画を共有し、計画に沿った支援を継続的に実施しております。	職員一人ひとりが専門的知識を学び続けるとともに、日々の支援の中で得られる気づきや実践を蓄積していくことが重要であると考えています。今後は、研修や文献等を通して知識を深めるとともに、職員間で事例共有や振り返りを行い、支援の根拠となる情報を組織として蓄積していくことに取り組んでいきます。これにより、より質の高い支援の提供につなげていきたいと考えています。
2	保護者の皆さまとの信頼関係	日々の送迎時の対話や活動報告、面談の実施などを通して、保護者の皆さまと継続的な情報共有を行っています。支援内容の説明やご相談への対応についても高い評価をいただき、安心してご利用いただける関係づくりができています。	送迎時のやり取りに加え、多様なコミュニケーションの機会を設けていくことが重要であると考えています。今後は、夏休みや冬休みの期間、また既存のイベント(ながつきカーニバルなど)を活用し、保護者の皆さまにも参加していただける機会を検討していきます。あわせて、保護者同士の交流や、事業所の支援内容を知っていただく場づくりにも取り組み、より安心して利用していただける関係づくりを目指していきます。
3	安心・安全な環境づくり	事故防止や災害対応のマニュアル整備、定期的な訓練の実施など、安全面への取り組みを継続しています。お子さまが安心して通所できる環境であるとの評価をいただいております。	マニュアルの整備や訓練の実施に加え、日々の支援の中で危険を予測し未然に防ぐ視点を高めていくことが重要であると考えています。今後は、ヒヤリハット事例の共有や振り返りを職員間で行い、安全意識の向上と対応力の強化に取り組んでいきます。また、災害時の対応についても定期的な訓練を継続し、より安心して通所していただける環境づくりに努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりの充実	地域の児童館や関係機関との交流機会については、十分とは言えない部分も見受けられました。今後は、地域社会とのつながりをより意識し、お子さまの社会参加の機会を広げていきたいと考えております。	学校や児童館など関係機関との連携をより深めていくため、送迎時や来所時などの機会を活用し、日常的なコミュニケーションを意識的に行っていきます。また、必要に応じて児童の様子や支援の工夫について情報共有を行い、互いの理解を深めながら良好な関係づくりを進めていきます。こうした関係性を基盤に、地域資源を活用した活動や交流の機会についても検討していきたいと考えています。
2	家族支援のさらなる充実	日々の相談対応は行っておりますが、保護者同士の交流機会や体系的な家族支援プログラムについては、今後さらに工夫を重ねていく必要があると考えております。ご家庭全体を支える視点を大切にしながら取り組んでまいります。	保護者同士の交流や家族支援の充実を図るため、保護者が気軽に事業所に足を運べる機会づくりを進めていきます。具体的には、施設見学のハードルを下げる工夫や、保護者参加型のイベント(地域交流を兼ねた行事等)の開催を検討していきます。こうした機会を通して、保護者同士のつながりづくりや情報交換を促すとともに、ご家庭全体を支える視点を大切にした支援の充実に取り組んでいきます。
3	より安定した運営体制の構築	利用児童数の増加に伴い、職員体制や環境整備のさらなる充実が求められています。今後も職員の資質向上と体制強化を図り、持続可能で質の高い支援を提供できるよう努めてまいります。	活動スペースの使い方や動線の見直しなど、児童が安全かつ落ち着いて過ごせる環境整備を進めていきます。また、活動内容に応じた空間の使い分けや備品の配置を工夫し、安心して過ごせる環境づくりを継続していきます。あわせて、職員体制の充実や情報共有の強化にも取り組み、質の高い支援が安定して提供できる体制づくりを目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス まある		公表日		令和8年3月19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2つの部屋を使用して活動を行っている。	静と動の活動スペースを分けるなど、各支援室の使用方法をより明確にしていく必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童数が多い日はアルバイトや児童発達支援の職員にサポートを依頼するなど、柔軟に対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		掲示物など視覚的な情報を取り入れ、子どもに分かりやすい環境づくりを行っている。	各支援室の使用方法やルールが曖昧な部分があるため、ルールの掲示など環境整備を進めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		各職員から意見を収集し、運用方法の見直しを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日、情報共有を行なっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年に一度以上の外部研修派遣を行っている 外部研修、法人研修、内部研修を行っている	
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		vineland2適応行動尺度を用いたアセスメントを行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		係りで立案し、全体周知している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前短時間であるが、その日の活動内容を共有している。	支援開始前の打ち合わせ時間の確保について検討の余地がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		特定の打ち合わせ時間を設けていないが、支援後の業務の中で共有している	振り返りのための打ち合わせ時間の設定について検討の余地がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	当事業所には該当者がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		外部活動の際に地域の子どもと関わる機会がある。	放課後児童クラブや児童館との交流の場は設けられていないため、今後検討が必要である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		一部の職員のみ参加となっている為、今後、参加する職員を拡大できるようにしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		サービス記録だけでなく、送迎時など対面で分かりやすく児童の様子を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保護者の皆様の交流の機会を設けられていない為、既存の行事や、長期休業期間等に父母参加企画として活動を考えていく。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		季節の行事ごとに活動の様子を写真とともに発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス まある

対象人数(保護者)27人 回答者数 18人 回収 66.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18			
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18			
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	9	1	
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18			
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	1	
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	18			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	1	
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18			
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17		1	
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	1		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2		放課後も長期休暇中もいつも楽しそうに通っています。その姿を見て安心しております。ありがとうございます。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	18			